

は し が き

職業，それは，人間の生きる手段であります。その職業なるものには，3要素が考えられます。

第1要素の生活維持。それは，メシのタネを得ることです。

第2要素の個性顕現。これは，人間としての特技を発揮するとでもいいでしょうか，ひとまねでない仕事で，与えられた人生を刻むとでもいいでしょうか。

第3要素の社会向上。いわゆる社会連帯意識を持ちつづけて働き，共同社会の発展に役立つことです。

第1の生活維持を，メシのタネというならば，第2，第3は，ミチのタネと呼んでもいいようです。同じ生きる手段といっても，ねらいが単なる生物的な生でなく，いわば食うだけでない倫理性に裏打ちされていますから。

いまここに，ミチのタネが，みごとに集録されました。教職という職に従事する人々の，職業倫理の実践結果ともいえるべきものです。

いずれも力作です。しかし，力作といっても，なにぶん多忙な本務のかたわら，筆を執ったものですから，完全なものではありません。一読されて，幾つかの傷に，お気づきになることと思えます。

執筆者は，謙虚に，その傷のご指摘を待っているのですから，善意をもって，ご指摘ください。それが，研究の発展のために，なによりも役立つのです。

おわりに，研修員に示された校長先生はじめ全職員のご理解とご援助に，感謝の意を表します。今後ともよろしくお願いします。

昭和42年2月20日

新潟県立教育センター所長

池

政 栄